

**令和7年度 第2回こまき少年少女発明クラブ企画運営委員会
会議録**

日 時	令和7年2月6日（金）午後3時～午後4時
場 所	こまきこども未来館 会議室（ラピオ2階）
出席者	<p>【委員】5名（※敬称略） 梶田光俊、水野一哉、外山貴彦、林文通、村田吉隆</p> <p>【事務局】4名 こども未来部次長、事業推進係員、NPO法人10人村（受託者）（2名）</p> <p>【傍聴者】なし</p>
会議資料	<p>1 次第</p> <p>2 資料1（令和7年度活動計画）</p> <p>3 資料2（令和6年度発明クラブ通信）</p> <p>4 資料3（令和6年度前期発明クラブ員保護者アンケート）</p> <p>5 資料4（令和6年度後期発明クラブ員保護者アンケート）</p>
会議内容	<p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議題 (1) 令和7年度の活動報告及び令和8年度の活動計画について</p> <p>3 その他 (1) 今後の予定について</p>
会議要旨	<p>1 委員長あいさつ 今年もこどもたちみんながクラブでの活動を通して大きく成長してくれたのではと感じる。本日の会議においても、次年度に向けて話し合いができたと思う。みなさま忌憚のない意見をよろしく願います。</p> <p>2 議題 (1) 令和7年度の活動報告及び令和8年度の活動計画について</p>
事務局	<p>令和7年度の活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合言葉は今年も引き続き「とりあえずやってみよう！」 ・新しい取り組みとしてCKD株式会社ショールーム見学、佐橋工業株式会社モールドプラス工場見学を実施。佐橋工業株式会社モールドプラスでは2グループにわかれて見学を行い、こどもたちは大きい業務用エレベーターに乗ったことが印象的だったと答えた。 ・前期はこれまでのクラブの修了生である中学生が毎回の出席は難しいがサポートであれば可能ということでサポーターとして参加。後期は定員が16人であったところ19人の申込みがあり、19人で活動した。 ・通常のクラブ活動とは別に、クラブ員向けにダイコク電機株式会社によるプログラミング体験ワークショップを実施していただいた。 ・「卵を守るパッケージづくり」は、前年度より難易度をあげて実施。事前に自分の作りたいものの設計図を準備して参加した子がいた。『創意くふう展』の見学では他のクラブの子の作品にかなり刺激を受けたようで、見学後にこどもたちの意識の変化が見られ、モーターなど今までにはない素材を使った挑戦が多かったように感じる。 ・特に後期については、課外活動が増えたことにより製作時間が短くなっ

	<p>たことが課題の1つ。</p> <p>令和8年度の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標、合言葉は継続して「課題をさがす！挑戦する！解決する！」「とりあえずやってみよう！！」と設定し、こどもたちの意欲を引き出すように取り組んでいきたい。 ・前期は「卵を守るパッケージづくり」のように結論がわかりやすく、改良しやすい課題ということで「耐荷重チャレンジ」を計画。市内の建設会社へ建物がどう作られているかなどの講義を依頼する予定。令和6年度に実施した「秘密基地づくり」をもう一度したい！という声がこどもたちから継続的にあがっていることもあり、課題を見つけるという点から内容を調整し「自分の居場所を作ろう！～段ボールシェルター～」を行う予定。後期は『創意くふう展』の見学後に作品をつくる時間を増やすため、令和7年度までより開催時期を後ろ倒しする予定。 ・工場見学を含め、引き続き地域の企業にクラブの活動に対して協力を依頼する。 ・活動時間は14時30分～16時30分、参加費は1人1,000円程度。見守りサポーターは1人増。専任指導員と面識のある方が、6年度の「誰もが夢中になる遊具づくり」をきっかけにクラブの活動を魅力に感じてくださり、引き続き見守りサポーターとして活動してくれる運びとなった。 <p>《質疑応答》</p>
梶田委員長	<p>令和7年度のクラブ員のリピーター率はどのくらいか。発明クラブへの参加がこまきこども未来館（以下「未来館」という。）初来館という子もいるのか。</p>
事務局	<p>前年度から連続の参加が9人。連続ではないがこれまでに参加したことがある子を含めると12人。初参加の子も多くは未来館の講座やワークショップに参加したことがある子。今年度は大府市からの参加もあった。募集の時期に過去に未来館のワークショップに参加実績がある子にダイレクトメールを送っており、大府市からの参加もこれがきっかけと考えられる一方で、新規開拓が難しいと感じている。</p>
外山委員	<p>前期後期ともに中学生がいないが募集はどの範囲で行っているのか。</p>
事務局	<p>小学3年生から中学3年生。初期に参加していた中学生は卒業していき、今年度は中学生の参加がなかった。現在高学年の子が継続して来てくれると良いと感じている。</p>
外山委員	<p>リピーターが多いという話があった。小学3年生を新規で獲得すれば、中学生まで継続的に参加してくれるようにも感じられる。そうなれば、内容</p>

	<p>を考えるとあたって 5 年程度で 1 周するサイクルを組めば毎年違うことを、いつかは参加できる、という仕組みをつくることのできるのでは。ただ、幅広い学年で一緒のことに取り組む機会は小中学校ではあまりない。そこは大切にしてほしい。</p>
事務局	<p>活動を見て「まだ参加できないね」と残念そうに話している親子もいるので可能性はあるかもしれない。参加人数が多い他市町では、学年ごとに分けて活動しているクラブもある。今後、活動が積みあがると変わるときが来るかもしれないが、当面の間は、現在のように学年問わず助け合いながら活動を進めていくようにしたい。以前は、大人に聞きに来ることが多かったが、最近はこども同士で聞き合える雰囲気できているように感じる。</p>
林委員	<p>前回の会議で『創意くふう展』等に出展してみたらどうかという話をしたがその後どのような状態か。こどもたちが「やりたい！」と積極的な状況になると良い。</p>
事務局	<p>令和 7 年度は 6 年度に続き見学のみ。見学に行くと「俺もできる！」とモチベーションがあがっている子もいる。出展にあたって、結果に関わらずこどもが出展したことへの達成感を感じるようにできればと考えているので、今後相談、調整していきたい。</p>
梶田委員長	<p>こどもの動機付けとして、『創意くふう展』の見学という体験が大きいのであれば、4 月から 3 月までの年度区切りでの活動だと 11 月の見学ではその後の製作の時間が十分ではない。年度のしぼりではなく、11 月から 10 月など、活動の流れの仕組みが変わればおもしろい。</p>
水野委員	<p>「卵を守るパッケージづくり」は落として割れなかったら終わりではなく、高さを変える、見栄えを変える、個数を変える、また、耐衝撃性を工夫する、落ち方を工夫する、など課題の難易度を上げていくことができる。「耐荷重チャレンジ」も同様で、揺らす等工夫できる。周りが崩れてもその中にいたら大丈夫というようにシェルターづくりにも発展できるのでは。ただ、量産もできるという観点からも「卵を守るパッケージづくり」は卓越しており、毎年実施しても良いように感じる。</p>
事務局	<p>現場でもそう感じているが、卵の後処理に課題がある。</p>
村田委員	<p>未来館が「誰でもチャレンジできる」という場所であるため、リピーターが多いのは嬉しい反面、特定の人に偏ってしまうのがもったいないと感じる。</p>
外山委員	<p>参加者は市内、市外こういった割合なのか。活動の周知はどのように実施しているのか。</p>

事務局	<p>前期、後期ともに1,2人が市外からの参加で、大半は市内の子。一宮市の発明クラブに入れなかったことがきっかけで小牧市に参加している子もいる。今年度は、小牧市広報広聴課が発行している『こども広報こまき(KOKO こま)』に特集を組んでもらった。今月中に市内の小学4年生から中学3年生を対象に電子媒体で配信される予定。加えてこれまでも市内小中学校にはチラシを配布。市外在住者についてはダイレクトメッセージや公式 SNS での周知。</p>
梶田委員長	<p>市外の子でも未来館を「良い、利用したい」という声がある。そういう子たちが参加してくれれば。</p>
水野委員	<p>市内の小学校が『この指とまれ』という体験講座が実施されている。発明クラブから講座として出展できれば周知のきっかけになるかもしれない。</p>
梶田委員長	<p>講義や見学などが定期的に計画されているが、自分のアイデアを形にしていく時間は足りるのか。今年度、昨年度はどうだったのか。</p>
事務局	<p>かなり際どく、もう1回余分に時間があつた方が良いと感じることもある。一方で、途中で飽きる子、あまりこだわらない子もいるためそのバランスが難しい。こどもたちの進捗具合から1回追加で開催したこともある。保護者に連絡し、クラブの活動以外の時間に未来館でつくることを案内することもある。</p>
梶田委員長	<p>そういったフォローができているところがリピーターの獲得に繋がっているように感じる。</p> <p>【 議題(1) ⇒ 承認 】</p> <p><u>3 その他 今後の予定について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度第1回こまき少年少女発明クラブ企画運営委員会は、5月頃開催予定。改めて令和7年度の詳細な活動実績報告と、本日のみなさまからのご意見を踏まえた令和8年度の活動計画について改めてご意見をいただきたい。